



＝ 「創造性を育む」 ＝

校長 花松 均

私たちの取り巻く社会では、急速な少子化、高齢化とそれに伴う、生産年齢人口の減少、国どうしの対立による混迷したグローバル情勢、気候変動に伴う自然災害の激甚化、生成AIなどのデジタル技術の発展と言った大きな変化があいまって、「予測困難な時代」、「VUCA時代 (Volatility : 変動性) (Uncertainty : 不確実性) (Complexity : 複雑性) (Ambiguity : 曖昧性)」などと言われる時代を迎え、社会の不確実性がこれまでになく高まっています。

これからの激しい変化の時代を生き抜いていく生徒には、いかに「変化」に柔軟に対応して行ける力を身に付けることができるかが鍵になってきます。

そのため、生徒には、自分の知識と判断力を使って、自由な発想で色々なことを創り出して行くことが大切になってきます。これまでの社会では、自分の持っている知識をいかに適切に使って行くかが重要でしたが、これからの時代では、それぞれが持っている力で、新しいものを創造して行くことが重要になってきます。

また、正解（確かな知識）をもとにしつつも、正解のないことに挑んだり、自分なりの疑問（問い）を立てたりして、自らの考えを整理する力も必要になってきます。

そのために本校では、疑問を持って、自分で考え、人に伝える活動・学びに重点を置いた「探究」活動を教育活動の柱に据え、生徒の興味・関心、ニュースや地域で話題になっている社会問題について、生徒なりの課題を設定し、根拠をもって考えたことをもとに、自分と社会を繋げ、未来を創る学び「函西 Well-being共創プロジェクト」を立ち上げて取り組んでいます。

本校は、函館を代表する観光スポット「八幡坂」の上であり、校舎からは、海に向かって真っすぐ伸びる八幡坂、青い空と函館湾、対岸の街並みや山々を見下ろすことのできる風景は、生徒の感性を高め「創造性」を育むには最適な環境と考えます。

生徒には、本校での高校生活を自由な発想を最大限に生かしながら、これからの時代に向かって創造的な活動を積極的に行ってくれることを期待しています。